

第 57 回日本緑化工学会大会プログラム

大会運営委員長 宗岡寿美

1. 大会プログラム

(1) 日程：2026 年（令和 8 年）9 月 1 日（火）～ 3 日（木）

1 日目 2026 年 9 月 1 日（火）

8:30	大会受付開始
9:30	開会挨拶，大会概要説明
9:45～10:45	ポスター発表コアタイム A（論文・技術報告・交流部門）
12:00～13:30	総会，学会賞授賞式
13:45～15:55	公開シンポジウム
16:10～18:00	情報交換会
9:00～16:00	ポスター展示 / 企業展示 / 休憩室
18:15	貸切バス 帯広畜産大学正門前発（先着 60 名） JR 帯広駅近辺着
18:07 19:07	路線バス 緑葉高校前発 JR 帯広駅バスターミナル行き

2 日目 2026 年 9 月 2 日（水）

8:30	大会受付開始
9:30～10:45	口頭発表（1）（2）（論文・技術報告部門）
11:00～12:00	ポスター発表コアタイム B（論文・技術報告・交流部門）
12:05～13:20	評議員会 / 業界研究会（学生参加企画）
13:30～14:45	研究集会（1）（2）（3）
14:55～16:10	研究集会（4）（5）（6）
16:15～16:30	優秀ポスター賞授賞式，閉会挨拶，事務連絡
9:00～13:00	ポスター展示 / 企業展示 / 休憩室
17:00	貸切バス 帯広畜産大学正門前発（先着 60 名） JR 帯広駅近辺着
17:07 18:07	路線バス 緑葉高校前発 JR 帯広駅バスターミナル行き

3 日目 2025 年 9 月 3 日（木）

8:30	JR 帯広駅南側（かしわプラザ東側）集合
9:00～12:30	現地見学（帯広畜産大学）・昼食
12:30	帯広畜産大学発 13:00 頃 JR 帯広駅近辺 解散（予定）

(2) 1・2日目タイムテーブル

会場：帯広畜産大学 講義棟 & かしわプラザ

9月1日(火)

	8				9				10				11				12				13				14				15				16				17				18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
場所	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
学生ホール	受付・企業展示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

9月2日(水)

	8				9				10				11				12				13				14				15				16				17				18			
場所	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45								
学生ホール	受付・企業展示																												0	15	30	45												
大講義室																																												
3番・4番講義室	ポスター掲示								ポスター コアタイムB				ポスター掲示																															
かしわプラザ マルチルーム1	ポスター掲示								ポスター コアタイムB				ポスター掲示																															
5番講義室									□頭発表(1)												研究集会(1)				研究集会(4)																			
25番講義室									□頭発表(2)												評議員会				研究集会(2)				研究集会(5)															
23番講義室																	業界研究会				研究集会(3)				研究集会(6)																			
1番講義室	休憩室																																											
2番講義室	(大会本部)																																											



ポ
ス
タ
ー
I
賞
授
与
式
・
開
会
式



貸
切
バ
ス
出
発

大講義室内での飲食は一切禁止されています。 貸切バス出発：帯広畜産大学正門前

大会運営委員会より

皆様、第57回日本緑化工学会大会にご参加くださり、誠にありがとうございます。

本大会では、公開シンポジウム「積雪寒冷地の法面・崩壊斜面と緑化保全の最前線」、99件の研究発表（口頭発表10件、ポスター発表89件）、6件の研究集会、帯広畜産大学構内での現地見学会をはじめ、5社による企業展示（資材・工法展示）・業界研究会、学会賞・優秀ポスター賞授賞式、情報交換会など、多彩なプログラムを予定しています。これらのプログラムを通じて、最新の研究成果の発表と活発な議論が交わされることを期待しています。本大会が参加者の皆様にとって実りある交流の場となり、今後の研究活動や実践活動での大きな糧となることを心より願っています。

なお、この「第57回日本緑化工学会大会プログラム」のほか、「第57回日本緑化工学会大会交流部門要旨集」および「第57回日本緑化工学会大会論文・技術報告部門要旨集（8月31日公開）」を学会HPよりダウンロードした上で、本大会にご参加ください。

2. 口頭発表（論文・技術報告部門）

口頭発表プログラム

発表番号末尾 A: 論文部門, T: 技術報告部門

口頭発表(1)

9月2日(水) 9:30-10:45 5番講義室

座長：高林 裕（神戸女学院大学）

No	タイトル	著者
O-01-A	張芝工2年目の外来草本植物の根系を含む高含水土のせん断特性	宗岡寿美・神田琢実・山崎由理・小林健嗣・永井 晶・中島直久・木村賢人
O-02-A	植物体の分解特性に基づく緑地の炭素固定機能の評価	高橋輝昌・千葉祥太・小松秀次
O-03-T	土壌の種類および土壌改良材の施用が芝生の炭素量に及ぼす影響	高橋輝昌・鈴木紘平・赤藤恵司・高柳伸次
O-04-T	地域性種子利用工，自然侵入促進工，表土利用工と市場単価方式の植生工とのコスト比較	田中 淳
O-05-T	帯広市東部と土幌町の常緑樹耕地防風林の樹種ごとの現況と切れ目への対処法	中川昌彦

口頭発表(2)

9月2日(水) 9:30-10:45 25番講義室

座長：大塚芳嵩（大阪公立大学）

No	タイトル	著者
O-06-A	神戸市中央区4路線における街路樹生態系サービスの推定と必要調査本数の検討	植地俊輔・福井 亘・木田実里・大田萌楠
O-07-T	バイオ炭および肥料の施用が緑化樹木の成長形質に及ぼす影響の評価	大西竹志・石黒一弘・根津郁実・石栗 太
O-08-T	ドローンによる樹冠温度測定の実験条件整理と樹木健全性評価への適用可能性	手代木純・鈴木 匠
O-09-T	ノハナショウブの種子発芽特性及び初期成長	大澤啓志
O-10-T	都市域に生育する在来コケ植物2種におけるPb集積および溶脱特性	浅井俊光・小林玲斗・武生雅明

口頭発表要領

1. PC 接続環境

- 会場には Windows PC を設置しており，PowerPoint あるいは PDF で発表可能です。最新定義でウイルススキャン済みの USB メモリ等でデータをご準備ください。

2. 発表時間

- 発表・質疑時間は 1 題あたり 14 分（発表 12 分，質疑 2 分），発表者の交代時間は 1 分を想定しています。発表当日は発表時間を順守し，座長の進行に従ってください。

3. ポスター発表（論文・技術報告・交流部門）

ポスター発表プログラム

コアタイムA：Day 1（9月1日） 9:45-10:45

ポスター番号末尾

コアタイムB：Day 2（9月2日） 11:00-12:00

A: 論文部門, T: 技術報告部門, R: 交流部門

論文部門 かしわプラザマルチルーム1

番号	タイトル	著者	発表日
P-01-A	街区公園の炭素貯蔵量を規定するのは樹種か植栽本数か	平尾大貴・山田俊弘	Day 1
P-02-A	西日本におけるハマナデシコの開花フェノロジーの二極化	楠瀬雄三・長谷川匡弘	Day 2
P-03-A	LiDAR SLAMデータを用いた都市公園の林分構造とTreMの関係分析	羽鳥健太郎・石山信雄・笠井美青・森本淳子	Day 1
P-04-A	3次元データを用いたムニンノボタンの結実および樹勢に関する要因の解析	勝田真一・加藤 顕・瀬戸口浩彰	Day 2
P-05-A	土壌内の換気処理がコウライシバの生育に与える影響	藤原玄基・齊藤 翼・中島宏昭 ・水庭千鶴子・高橋新平	Day 1
P-06-A	能登半島地震の隆起により拡大した砂浜海岸における植生の飛砂抑制効果の評価	田村能聖・岡 浩平	Day 2
P-07-A	就業者を対象にした園芸活動の内容評価と効果感の関係	小島倫直・岩崎 寛	Day 1
P-08-A	都市緑地における背景音と緑地構造との関係	笠原真珠・加藤 顕・澤田義人	Day 2

番号	タイトル	著者	発表日
P-09-T	北海道羅臼地域における斜面方位と水分条件が異なる植生の事例	福田尚人・中川雄平	Day 1
P-10-T	北海道羅臼地域治山緑化地における侵入植物の事例	福田尚人・中川雄平	Day 2
P-11-T	暖地型草本と寒地型草本の混播による植生工の越冬後における地盤補強効果	横井竜馬・中村 大・矢尾板晃弘 ・佐々木裕一・菖蒲哲也・宗岡寿美	Day 1
P-12-T	約7年の管理停止後に刈り取りが再開された丘陵地二次林脇の斜面草地における植生回復	山田 晋・大島瑠加・森内万尋	Day 2
P-13-T	低温貯蔵した現地採取種子による自然回復緑化 ー施工16年4ヵ月後までの植生推移ー	永渕祐宜・小野幸菜・吉田 寛	Day 1
P-14-T	東海環状自動車道の建設に伴うオグラコウホネ (<i>Nuphar oguraensis</i> var. <i>oguraensis</i>) の保全	白川一代・吉田好男・浅井可葉・渡邊梨々子 ・森下健太	Day 2
P-15-T	高速道路切土のり面における侵入木の成長抑制管理手法の実証的検証	高橋竜一・岩田朋子・鬼束大平・立川児太郎	Day 1
P-16-T	都市緑地の樹木調査におけるLiDARと毎木調査の比較	金 甫炫	Day 2
P-17-T	兵庫県立甲山森林公園における樹林管理団体の立上げ経緯とその活動	大藪崇司・田村和也・塚田伸也・美濃伸之	Day 1
P-18-T	京都市の街区公園における衛星画像による樹冠部抽出と公園内樹冠面積率の特徴	宮本脩詩・福井 亘	Day 2
P-19-T	竹粉砕物(竹パウダー)混合基盤が緑化植物オオウシノケグサの生育へ与える影響	太刀川翼・越田宗克・藤野丈志	Day 1
P-20-T	覆土による荷重および酸素条件の違いが地域性種苗の発芽に及ぼす影響	岸本大地・中島敦司・大西智貴	Day 2
P-21-T	長野県内におけるネナシカズラ属2種(在来種と帰化種)の分布概況と寄主植物	大西理玖仁・加藤泰造・荒瀬輝夫	Day 1
P-22-T	光環境の違いが常緑多年生草本タマノカンアオイ (<i>Asarum tamaense</i> Makino) 発芽初期段階に与える影響	川又奏太・本名亨野・片方聡太・中島宏昭	Day 2
P-23-T	室内環境におけるLED色温度および照射時間が葉菜類・観葉植物の生育に与える影響	手代木純	Day 1
P-24-T	インターチェンジランプ内緑地における草刈り作業の機械化に関する比較検証	岩田朋子・立川児太郎・高橋竜一・鬼束大平	Day 2
P-25-T	10年ぶりに見直されたエコロードガイドの改定経緯および概要	新井恵璃子・吉田好男	Day 1
P-26-T	斜面崩壊後の木柵と鹿柵の設置が哺乳類の生息地利用に与える影響	高橋奈々・本郷悠夏・石山信雄・揚妻直樹・森本淳子	Day 2
P-27-T	高松市中央通りにおける鳥類の集団ねぐら形成に関する分析	高林 裕・寒川達矢・福井 亘・小宅由似	Day 1
P-28-T	湿田を模した周年湛水人工浅水池の造成初年度におけるトンボ類のコロナイゼーション	伊藤聡希・有本 智・中島敦司	Day 2
P-29-T	自宅における植物栽培が勤務者の精神的健康に与える効果	吉原裕人・信田幸大・荒井菜穂美・那須 守・岩崎 寛	Day 1
P-30-T	都市部オフィス勤務者の緑との関わりと孤独感の関連に関する探索的研究	梅原瑞幾・岩崎 寛	Day 2
P-31-T	ミニトマトの家庭栽培が従業員の家族交流とウェルビーイングに与える影響と双方向因果	那須 守・信田幸大・吉原裕人・荒井菜穂美・岩崎 寛	Day 1
P-32-T	高速道路ピオトープを活用したネイチャーポジティブの取組み	武田一樹・一戸信之介・吉田和貴・勝呂尚之	Day 2

番号	タイトル	著者	発表日
P-33-R	SNSに投稿された画像とテキスト情報を統合したキャンプ体験の分析手法の検討	小田龍聖	Day 1
P-34-R	ICタグを用いた樹木管理効率化に関する基礎的検討	増谷貴斗・光浪一成・小澤徹三 ・桃井信行・益子光市・山本裕治 ・田中幸一・西田清一	Day 2
P-35-R	現地採種された秋田自生在来種の種子受領から精選後獲得種子まで（３年分）	吉原敬嗣・沓澤 武・小林健嗣	Day 1
P-36-R	海岸埋立地で植栽後47年を経た保安林の高木種の胸高断面積と被覆面積の関係	広永勇三	Day 2
P-37-R	地域性種苗を用いた法面緑化における施工後の植生回復状況	古野正章・永井 晶・長谷川恭秀	Day 1
P-38-R	秋田自生在来種を使った緑化工事の事例報告その２	沓澤 武・吉原敬嗣・小林健嗣	Day 2
P-39-R	道路法面に対するシカの利用実態に関する考察	城間友里菜・内田泰三	Day 1
P-40-R	雨の新たな評価指標「雨滴エネルギー」を計測する「加速度式雨滴衝撃計」の開発	津田その子・南光一樹	Day 2
P-41-R	雑草管理ロボットの弱点補完に着目したカバープランツの適性評価	稲垣栄洋・塩原 凜・仲澤晋作 ・吉永梨沙・藤井百花・成瀬博規 ・岩本百合香・大塚 政洋・山口 直信	Day 1
P-42-R	法面緑化における植生調査支援を目的とした深層学習による草本植物の草種識別に関する基礎的検討	堤 経心・中村 大・葛蒲哲也	Day 2
P-43-R	造成初期の湿地における栄養塩等溶存物質の挙動と草高の関係	辻 盛生	Day 1
P-44-R	歴史的背景のあるため池に対する認識と近隣のまちにおける関わりとの関連性	大塚芳嵩・西田雅咲	Day 2
P-45-R	積雪寒冷地に適用する植生工法の違いと法面表層の根系評価	熊田勇斗・永井 晶・小林健嗣・宗岡寿美	Day 1
P-46-R	干拓地大潟村の防風林形成に向けた初期緑化樹種の半世紀が経過した時点の適性評価	大澤啓志	Day 2
P-47-R	生分解性樹脂水系分散体の土壌適用における微生物活性化を介した生物学的団粒構造形成促進機構の解明	鈴木 翔	Day 1
P-48-R	Potential of Cellulose Materials Utilization in Vegetation Technology	Sourav Tanvir Ahmad, Takida Moe, Inagaki Hidehiro	Day 2
P-49-R	レンゲの導入が作物の生育・雑草抑制および地表徘徊性昆虫相に及ぼす影響	瀧田 萌・稲垣栄洋・Gorachad Goshami	Day 1
P-50-R	里山構成植物カラムシの挿し木増殖技術の検討	宗近真子・稲垣栄洋	Day 2
P-51-R	国土緑化運動を背景とした「学校林」の高齢級化の状況 ― 事例としての自由学園植林地における課題 ―	吉川慎平	Day 1
P-52-R	自然崖地の乏しい東京都心部に成立する石積み擁壁植物群落 ― ノベル生態系としての特徴 ―	村上健太郎	Day 2
P-53-R	グラウンドカバープランツ「ダイカンドラ」の育苗に適した培地の探索	岩本百合香・森川信也・稲垣栄洋	Day 1
P-54-R	男体山の崩壊地におけるスケルトン型山地保全資材の堆砂状況	小川泰浩・宮治文香・岡部宏秋・石森良房	Day 2
P-55-R	植生回復緑化における植生モニタリングの効率化に向けた調査頻度低減時期の検討―広島県宮島の地域性種苗を用いた緑化の例―	小宅由似・Phan Quynh Chi・中村 創・ 小山克輝・弘松瑤希・國井秀剛・大河夢叶 ・長崎涼平・本郷圭祐・中原-坪田美保 ・坪田博美	Day 1
P-56-R	天然生海岸林を指標とした人工島緑化地の植生評価	奥山颯大・石井弘明	Day 2
P-57-R	大型物流施設の外構緑地におけるバイオ炭混合土壌での植物生育モニタリング	松岡達也・渡部陽介・隅倉光博 ・松岡 伶・大黒俊哉	Day 1

P-58-R	多雪地である雨飾山北斜面における東京クレセントロール®の実績	山本聡子・小川泰浩・岡部宏秋	Day 2
P-59-R	人工池における浚渫が土壌散布体に及ぼす影響 ～千葉県印西市の企業緑地における事例～	白土智子・北野雅人・古川靖英	Day 1
P-60-R	斜面崩壊地におけるレガシーとマットを使用した緑化処理後1年の経過状況	重野真修・厚井高志・桂 真也・森本淳子	Day 2

交流部門（その2） 4 番講義室

番号	タイトル	著者	発表日
P-61-R	シカ不嗜好性外来草本植物を用いた林道緑化法面における野生シカの被害低減効果に関する検証	小澤信彦・下村駿平・浦野祐磨・山部峰人・吉田 寛	Day 1
P-62-R	生育基盤中の石礫量の違いがクロマツの水平根による引き抜き抵抗性に与える影響	門馬紗智子・佐藤貴紀・橘 隆一	Day 2
P-63-R	海水浴場における海岸砂丘復元開始から4年半後の地形・植生回復評価	植野晴子・松島 肇・大越 陽・中田康隆	Day 1
P-64-R	建設工事に伴う現地表土保全・活用による植生回復効果：竣工後1年目の状況	板川 暢・徳江義宏・高山晴夫・比田井秋寿・君島祐介・鴻丸誠弘	Day 2
P-65-R	三宅島の火山性荒廃斜面におけるスケルトン型山地保全資材の設置初期から6年後までの斜面安定効果	宮治文香・小川泰浩・石森良房・上條隆志・川田清和	Day 1
P-66-R	新潟県十日町市における耕作放棄水田の立地条件	徳江義宏・中川考介・寺田裕佳・山田順之	Day 2
P-67-R	令和6年能登半島地震による能登半島北部海岸の変化	中村華子	Day 1
P-68-R	高標高風衝荒廃地における非面的吹付緑化工の効果 —施工21年後の植生推移	小野幸菜・吉田 寛	Day 2
P-69-R	コマツナギの葉緑体DNA変異：自生集団の遺伝構造と輸入種子・法面個体との比較	今西純一・今西亜友美・井鷲裕司	Day 1
P-70-R	土質の違いが斜面におけるアセビの水平根による土壌補強強度に及ぼす影響	奈良きらり・佐藤貴紀・橘 隆一	Day 2
P-71-R	緩傾斜におけるヤブムラサキ (<i>Callicarpa mollis</i> Siebold et Zucc.) の水平根が有する引き抜き抵抗力	佐々木綾香・松田広大・安藤ミカ・佐藤貴紀・橘 隆一	Day 1
P-72-R	間伐強度の異なる林内における地域性苗木の初期生育	田村和也・佐野香織・片山 篤・馬場玲子	Day 2
P-73-R	ヒノキアスナロ (<i>Thujopsis dolabrata</i> var. <i>hondae</i>) の水平根による土壌補強強度	津ヶ谷貴大・谷本泰章・佐藤貴紀・橘 隆一	Day 1
P-74-R	都市の孤立樹林縁部におけるドクダミ生育地点の環境条件	前野ゆず・高林 裕	Day 2
P-75-R	孤立林におけるタマノカンアオイの生育分布域と実態把握	本名亨野・海老名泰幸・櫻井伸輔・川又奏太・鈴木貢次郎・中島宏昭	Day 1
P-76-R	斜面崩壊発生後4-8年における攪乱レガシーのサイズ変化	森田 旅・厚井高志・重野真修・桂 真也・森本淳子	Day 2
P-77-R	壁面緑化事例に見る緑化植物の生育状況と生育環境	岡田準人	Day 1
P-78-R	能登半島地震から2年 空からの再生 ドローンによる大規模崩壊地の緑化 (BSC工法) への取り組み	石原宏二・富坂峰人・城野裕介・中村まな美・足立幸大・高田英和・今村修二・高井静也・春名理都・小林駿斗	Day 2
P-79-R	観葉植物による室内緑化がオフィス環境下の空気質に与える影響	安藤穂歩・室谷松里・山本高広・小宅由似	Day 1
P-80-R	IoT傾斜センサー「ツリチル」を活用した樹木管理の実践事例と今後の展望	片岡日出美・飯塚康雄・森 広志・荒川一輝	Day 2

P-81-R	自生種を用いた ドローン緑化工法検討のための 山地崩壊斜面 での現地発芽実験	中村彰宏・谷菜乃実・田中 淳・田坂英之	Day 1
P-82-R	斜面安定に寄与する根系構造の空間変動	饒辺真奈・平野恭弘・平野 侑・大橋瑞江 ・池野英利・藤堂千景・檀浦正子 ・谷川東子・山瀬敬太郎	Day 2
P-83-R	3D点群データを用いた樹木の枯枝抽出手法の提案	安達圭吾・松島 肇	Day 1
P-84-R	仮設住宅団地の交流広場における芝生の試験的改良 一固結土壌に対する改良実践と初期経過一	番匠剛輝・手代木純	Day 2
P-85-R	砂浜海岸における海浜植物群落の復元手法の検討	松島 肇・植野晴子・大越 陽・今富有紀 ・眞見和樹	Day 1
P-86-R	-	-	Day 2
P-87-R	勤務者の心理状態に合わせたオフィス緑化に関する研究 - フリーアドレスオフィスにおける座席選択行動に基づく最適な緑量の検討 -	阿部建太	Day 1
P-88-R	東京都立川市におけるオーグーブランツ類の露地栽培での生育と耐寒性	福原修斗・長嶋大貴	Day 2
P-89-R	地域性種苗を用いた生物多様性に配慮した植栽の試み - 母島緑化工事から見えてきたこと -	浦田光章・水野崇行・八島末和	Day 1

ポスター作成・発表要領

1. ポスターサイズ

- サイズは A0 (縦 1189 mm × 横 841mm) 以内の大きさで作成してください。

2. ポスター掲示方法

- 各自指定のスペースへ貼り付けてください。貼り付け用具は準備されています。

3. ポスターの掲示開始時刻

- 掲示は 9 月 1 日 (火) 朝 9 : 00 から貼り付け可能です。

4. ポスター発表コアタイム

- コアタイム A は 9 月 1 日 (火) 9:45 ~ 10:45 の 1 時間 ,
コアタイム B は 9 月 2 日 (水) 11:00 ~ 12:00 の 1 時間です。
- 発表者は , 指定されたポスターコアタイムにポスターの前で説明・質疑応答を行ってください。

5. ポスターの取り外し

- 9 月 2 日 (水) 13 : 30 までに必ずポスターを取り外しお持ち帰りください。なお , ポスター等の廃棄は , 大学内で行わないでください。取り外されていないポスターは , 大会運営委員会で処分することがございます。予めご了承ください。

6. 優秀ポスター賞の表彰

- 応募者は , 優秀ポスター賞表彰式まで会場にお残りください。

4. 公開シンポジウム

積雪寒冷地緑化研究部会 斜面緑化研究部会 共催

『積雪寒冷地の法面・崩壊斜面と緑化保全の最前線』

日時：9月1日（火）13:45～15:55

会場：大講義室

概要：

積雪・凍上等の影響が大きい北海道を含む積雪寒冷地では、厳しい自然条件下でさまざまな緑化技術を駆使して法面や崩壊斜面を保全してきた。本シンポジウムでは、草本植物の根系を含む土供試体の一面せん断試験から得られた法面保全効果の知見、これまで緑化工で展開されてきた樹木根と斜面安定に関する研究の歴史をふまえた課題の確認、緑化法面の設計施工で直面した積雪寒冷地特有の課題と対策、さらには崩壊斜面に残された倒木や植生パッチ（攪乱レガシー）を有効活用した自然回復緑化の技術開発等に関する知見を共有し、これらの多面的な視点をもとに積雪寒冷地を主とした今後の緑化保全の方向性についてともに議論を深めたい。

司会 田崎冬記（（株）北開水工コンサルタント）

挨拶・趣旨説明 宗岡寿美（帯広畜産大学）

講演

「草本植物の根系を含む土供試体のせん断特性

—強度定数（ $c \cdot \phi$ ）と法面保全効果—」 宗岡寿美（帯広畜産大学）

「緑化工における樹木根と斜面安定に関する研究の整理」 橘 隆一（東京農業大学）

「積雪寒冷地における斜面緑化の課題と対策例」 中村 剛（日本植生（株））

「北海道胆振東部地震で発生した崩壊斜面における自然回復緑化

—攪乱レガシー活用の試み—」 森本淳子（北海道大学）

パネルディスカッション

司会 田崎冬記（（株）北開水工コンサルタント）

パネラー 橘 隆一（東京農業大学） 中村 剛（日本植生（株））

福田尚人（（有）開成舎） 森本淳子（北海道大学）

5. 研究集会

研究集会(1)(2)(3) 9月2日(水) 13:30～14:45

研究集会(4)(5)(6) 9月2日(水) 14:55～16:10

研究集会(1) 代表者：小田龍聖・小宅由似 会場：5 番講義室

【タイトル】緑化工若手の会 ―緑化学分野におけるキャリア形成の実態と課題―
(博士取得とその後の進路・働き方・ライフプランをめぐる率直な経験共有)

【概要】

緑化学分野では博士取得や就職後のキャリアについて多様な選択肢が存在する一方、その実情や課題は十分に共有されていない。本研究集会ではおよそ学生や若手～中堅研究者(およそ40代前半以下を想定)を中心に、博士取得過程や取得後の進路、研究継続の困難や工夫に加え、働き方や生活との両立、育児等を含めたライフプランについて、実体験に基づく率直な共有を行う。さらに参加者からの相談をもとに議論を行い、表に出にくいキャリアと生活の実態を可視化することで、分野における人材育成および研究環境のあり方について検討する。

研究集会(2) 代表者：中島敦司 会場：25 番講義室

【タイトル】現場のことは現場に聞け 「わちけん」の成功と失敗から次の一手を考える

【概要】

「和歌山地域植物緑化研究会(通称わちけん)」は、産・民・学が連携し、地域性種苗緑化工法の高精度化を目的にスタートした。10年を超える研究活動の中では播種機や採取機の開発、地元での未利用資源を活用したリサイクル基盤の開発、種子生産/流通、発芽実験を繰り返し、現場での困りごとを現場目線で解決する方法を模索してきた。本研究集会では「わちけん」の成功と失敗を元に、普遍性の高い次の一手を考える意見交換を行う。

研究集会(3)(6) 代表者：築瀬知史 会場：23 番講義室

【タイトル】技術交流会(課題解決型の交流のススメ)

【概要】

技術交流会は、当学会の企画事業部会の行事で若手会員の交流を目的に開催しております。今後は地方ごとの開催も視野にいらしています。今回は、参考として会員自身が抱えている仕事上、研究上での課題(技術的でないもの、シビアでないもの、解決済みのもの可)について持ち寄り解決策を模索する参加型の集会です。若手技術者に事前に課題を簡潔に提示していただく方、知恵を出していただく方、議論に参加する方など役割は無数にありますが、回答を出すことがすべてではなく、参加者からの様々な意見から自らの考えをまとめてもらえれば十分です。参加する集会が特にならない皆さんのサロンとしてご参加ください。課題

を提示いただける方は事前に提示くださると幸いです。(xsmay@gmail.com まで)

研究集会(4) 代表者：森本淳子 会場：5 番講義室

【タイトル】学会発、生態系機能評価ガイドライン—Nature Positive を推進するために

【概要】

「ネイチャーポジティブ」を基軸とした生物多様性国家戦略が 2023 年に閣議決定して以来、環境・社会・経済が一体となって自然共生社会の実現に向かおうとしている。この機運を後押しすべく、技術的・制度的・学問的な課題を産官学が議論してきた学会の強みをいかして、緑にかかわる多様な事業地で使える「生態系機能評価ガイドライン」の策定を研究部会横断で開始した。進捗を学会員全体に共有することを目的として本集会を開催する。

・研究集会(5) 代表者：内田泰三・福井 亘 会場：25 番講義室

【タイトル】都市の身近な緑と生き物

【概要】

都市にある身近な緑には、公園や街路樹、社叢林、住宅地の庭など様々な緑が存在する。これらの身近な緑は、昆虫や鳥類を初めとする生き物の生息・移動・繁殖の場として機能し、都市生態系の基盤を形成している。例えば、花粉送粉者(ポリネータ)や鳥類種子散布といった都市生態系の基盤維持・再生に重要な役割を果たしている一方、緑地の分断化や緑の維持管理の均質化、外来生物種の侵入など、様々な課題もはらんでいる。本研究集会は、都市の身近な緑と生き物の関係を改めてみることで、都市における生物多様性保全の新たな方向性、緑地の質の向上など今後の都市緑化のあり方を探る場とする。

6. 企業展示（資材・工法展示）

日時：9月1日（火）8:30～16:00

9月2日（水）8:30～16:00

会場：学生ホール（大講義室前）

出展者（50音順）：

（株）グリーンエルム

（株）高速道路総合技術研究所 緑化技術センター

日本植生（株）

日本工営（株）沖縄支店

ロンタイ（株）

7. 業界研究会

日時：9月2日（水）12:05～13:20

会場：23 番講義室

参加企業（50音順，8月10日（月）現在）：

（株）グリーンエルム

東興ジオテック（株）

（株）北開水工コンサルタント

雪印種苗（株）

ロンタイ（株）

ほか

「業界研究会」は，緑化業界に就職を希望する学生の皆さんを対象として開催します。

企業担当者と学生の皆さんとが昼食をとりながら，緑化関連企業から参加学生に向けて各社 5 分間程度のプレゼン等をしていただきます。終了後には引き続き，企業担当者と学生の皆さんとのざっくばらんな個別懇談会も予定しています。

「学生の皆さんへ—お願い—」

学生の皆さんには，参加受付の際に業界研究会への参加の有無を確認いたします。

事前に参加を希望していただいた学生の皆さんには「昼食等を準備」いたします。

ぜひ，積極的に参加してください！よろしくお願いいたします。

8. 現地見学会

「帯広畜産大学内の施設見学」

(1) 実施日時および概要

9月3日(木)

8:30	JR 帯広駅南側(とかちプラザ東側) 集合・出発
9:00 ~ 11:45	現地見学(帯広畜産大学) 緑化研究用育苗箱設置施設 / 気象観測施設 / 地下灌漑ライシメータ / 造成水田 / 碧雲蔵 / 乳製品製造工場
11:45	昼食 帯広畜産大学生協
12:30 頃	帯広畜産大学発 13:00 頃 JR 帯広駅近辺 解散(予定)

9. 貸切バスの運行

出発時刻: 9月1日(火) 18:15 予定 先着 60 名(要 貸切バス券事前購入)

9月2日(水) 17:00 予定 先着 60 名(要 貸切バス券事前購入)

出発場所: 帯広畜産大学正門前発 JR 帯広駅近辺着

「第 57 回日本緑化工学会大会」では、第 1 日目・2 日目のプログラム終了時に合わせて

「貸切バス」を準備いたします(本大会には、基本的に駐車場はありません)。

「貸切バス券販売」

販売開始: 9月1日(火) 8:30 すぎ予定(1 日目・2 日目分 同時に販売開始)

販売場所: 大会受付付近(学生ホール(大講義室前))

価 格: 1 日分 500 円 2 日分 1,000 円 (両日とも先着 60 名分で販売終了)

(大会受付を終了した(名札を付けた)大会参加者にのみ販売します)

(理由の如何にかかわらず、返金はいたしません&領収書も作成しません)

本学は公共交通機関の便が非常に不便です。ぜひ、貸切バスをご利用ください!

十勝バス JR 帯広駅バスターミナル 緑葉高校前 片道 480 円(1 時間 1~2 本)

タクシー JR 帯広駅 帯広畜産大学 片道 3,000 円程度(4 名利用で 750 円程度)

10. 大会参加申込み方法

本大会・各イベントへの参加は以下をご参照ください。大会参加は当日受付をいたしますが、現地見学会は参加者の上限に達したため、参加を締め切りました。

参加希望の方はお早めにお申込みの上、決済をお願いいたします。

大 会 <https://event.atlas.jp/ja/jsrt/S0006>

情報交換会 <https://event.atlas.jp/ja/jsrt/S0008>

11. 会場までのアクセス

学会会場(帯広畜産大学 講義棟)へのアクセスはプログラム 15 ページを参照願います。
本学図書館を目指してお越しください。図書館入口から入った奥側に「講義棟」があります。
また、この東側に「かしわプラザ」と「帯広畜産大学生協」が隣接しています。生協 1F の
購買(10:30~15:00)および 2F 食堂(11:30~13:00)をご利用いただけます。なお、
かしわプラザ 1F の喫茶店「Farm Designs 帯広畜産大学店」(10:00~16:30L.O.)も
ご利用いただけます。

12. 会場の Wi-Fi について

帯広畜産大学の学会会場内には学内無線 LAN のアクセスポイントが 3 か所あります。
講義棟の大講義室(開会式・閉会式会場)入口付近、25 番講義室(口頭発表(2)会場)
入口付近および かしわプラザ・マルチルーム 1(論文・技術報告部門ポスター発表会場)
で使用可能です(パスワードを受付付近に掲示します(写真撮影を禁止します))。
また、帯広畜産大学では eduroam を使用可能です。大学関係者は eduroam を使用でき
ますが、事前設定や当日の接続方法は各自の所属大学からの案内をご確認ください。

13. 大会運営委員会

委員長：宗岡寿美(帯広畜産大学)

副委員長：田崎冬記((株)北開水工コンサルタント)

委員：木村賢人(帯広畜産大学)、中村 大(北見工業大学)、森本淳子(北海道大学)

〔事務局連絡先〕

〒080-8555 帯広市稲田町西 2 線 11 番地

帯広畜産大学 環境農学研究部門 農業環境工学分野内

第 57 回日本緑化工学会大会事務局

メール：ryokkako.taikai.57@gmail.com

メールアドレスの は@に置き換えてください。

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学は
「第 57 回日本緑化工学会大会」を後援しています。

帯広畜産大学所在地及び交通案内図

帯広畜産大学 北海道帯広市稲田町西2線11番地

アクセスマップ



●交通案内●

○帯広駅から本学まで

【十勝バス】

帯広駅バスターミナル 9番から大空団地線（系統番号 70・72）に乗車、「緑陽高校前」で下車。

（約30分 480円、1時間に ~~2本~~）

大学正門まで徒歩 15分 **1~2本**

【タクシー】

約15分 約 ~~2,400円~~ (約7km)

3,000円

○とかち帯広空港から本学まで

【バス】

とかち帯広空港 → 空港連絡バス（約 40分 1,000円）→ 帯広駅バスターミナル
→ 上記の路線バス

【タクシー】

約30分 約7,000円（約21km）

十勝バス HP

